

## 2018年度ちゅーりっぷハウス自己評価まとめ

### 重点目標1、全員で全体計画を作成し、子どもが主体的に行動できるよう保育者同士が共有し合いながら保育の質向上に努める。

#### 具体的な取り組み

- ・スタッフ全員で話し合いをし、保育に対しての思いの詰まった全体計画を作成することができた。
- ・保育者主導の保育ではなく、子どもが自ら「やってみたい」と思い、主体的に行動できるよう保育者が援助したり、見守ったりした。

#### 改善点

- ・全体計画を日々の保育へとつながるよう、保育者間で子ども一人ひとりの発達や個性に合わせた保育について話し合う。

### 重点目標2、保育者の専門性を生かし、地域に開かれた保育所を目指す。

#### 具体的な取り組み

- ・散歩先の公園で会った近隣のお子さんと一緒に、簡単なゲームを楽しんだ。
- ・園に見学に来た方へは、本園の情報だけではなく保護者の方が気になる情報提供ができるよう、丁寧に対応した。

#### 改善点

- ・小規模園のため近隣の方を招いての情報提供は難しいが、ブログ等で子育ての情報を発信していく。

### 重点目標3、保護者が子育ての喜びや楽しさを実感できるよう、保育者の知識を生かし支援していく。

#### 具体的な取り組み

- ・園日よりでは、保育者の知識を生かした子育て支援を意識した題材を取り入れた。
- ・保護者との連絡ノートや会話で、子どもの日々の成長を感じられるようその日のエピソードを分かりやすく伝えるよう心がけた。

#### 改善点

- ・研修で学んだ知識を全保育者が保護者に伝えられるよう、保護者との信頼関係を密に築く。

### 重点目標4、食育を通して「食べる楽しさ」「食べる大切さ」を伝え、食を営む力を育てる。

#### 具体的な取り組み

- ・調理員と共に食育計画をたて、見通しをたて食育に取り組んだ。
- ・収穫した物を使い、子どもの目の前で食材を調理したことで匂いや温かさを感じ、五感を使う貴重な機会を設けることができた。

#### 改善点

- ・日々、調理員と連携をとりながら、子どもに親しみのある食材を計画的に栽培する。
- ・空腹感を味わえるような活動をし、みんなで食べる楽しさを味わう。

### 重点目標5、防災対策に全員で取り組み、災害へ備える。

#### 具体的な取り組み

- ・毎月行う定例会で、避難訓練の振り返りを行った。 ・園で備蓄している非常食をおやつで食べる経験ができた。

#### 改善点

- ・毎月2回行っている、災害伝言ダイヤル訓練を保護者に周知されるよう工夫する。

## 2019年度 重点目標

- 1、一人ひとりの子どものありのままの姿を見ながら、成長過程に合わせた適切な援助や環境構成ができるようにする。
- 2、指導計画を保育者全員で共有し、子どもが主体となる保育を行う。
- 3、保護者との信頼関係を深め、保育者の専門性を生かしながら子育ての楽しさを伝えていく。
- 4、食を楽しむ体験を通し、「食べたい」と思う意欲を育てる。
- 5、防災、事故、感染症等、危機管理意識を高める。